

こじま肛門外科 院長・小島修司先生

近畿トップレベルの実績と技術力

平成9年の開院以来、痔の日帰り専門クリニックとしてその名を馳せる。小島先生は、痔核(いぼ痔)の切除術である結紮切除術や、豊富な経験が必要な内痔核硬化療法(ALTA)の名医。その腕を頼りに訪れる患者さんは年間2万5000人にも及び、うち手術件数は1600件と近畿圏トップレベルだ。入院が一般的な痔の手術も、小島先生の手にかかれば麻酔を入れて10～20分程度。患者さんの身体的負担を軽減することが最大の役目と、複雑な手術も可能な限り日帰りで完結することにこだわる。痔の治療は自由診療が多いなか保険内診療を貫き、患者さんの心に寄り添うことも忘れない。

組織や方針に縛られ、実力だけではやっていけないことに窮屈さを感じていた勤務医時代。治してほしいという患者さんの声にまっすぐに応えたいと、36歳の若さで開業する道を選んだ。赤字に苦しみ、技術に伸び悩んだ昔を懐かしく振り返りながら、街の肛門科医は天職とほほ笑む。「1人の医師の腕だけで治癒まで責任が持て、開業しても外科手術ができるのが魅力。便にまみれる毎日に嫌気がさすこともない」ときっぱり。迷いのない思いが、プロとしてさらなる高みへと導いてゆく。



こじま肛門外科

明石市本町1-6-10 ヴェッセルコジマビル3階

Tel.078-911-8501

【診療時間】 9:00～12:00・17:00～20:00

【休診日】 日曜・祝日午後

